

みちのく会は東日本大震災により道内に避難している被災者たちの会です。当会は2011年4月23日に会員同士の互助、地元市民とのコミュニティの発生、経済的自立を目指し、また、これから北海道へ避難されてくる方たちへの情報提供等、様々な取り組みを行っております。

チームみちのく始動しました！

「してもら」から「できることをやる」への一歩

以前会報やMLで呼びかけた「チームみちのく」が、いよいよ本格的に始動しました！

「できるときにできることを。一歩踏み出したい方集合！」という呼びかけに集まってくれたチームメイトのみなさんは20名にもなりました。それぞれ大変な避難生活の中、手を挙げて下さったみなさん、本当にありがとうございます。

チームメイトには、仕事を持ったパパさんいれば、母子避難の方も含まれています。お子さんが小さくて手がかかる人も。誰一人として余裕がある生活ではないでしょう。「自分はみちのく会に助けられたから」「先輩避難者としてできることをしたい」そういった想いで、1000人を超える会員全体、ひいては3000人にのぼる北海道避難者全体のために、無償で動こうという方々が集まりました。その決意に、役員の一員として、ひとりの避難者として、深く深く敬意を表します。

まず7/1と7/2、2回に分けて、チームみちのく結成式を行いました。

まずは全員が自己紹介。全員が避難者ですので、自然に「311のときはどうだったか」「どんなふうに避難してきたか」という話にもなりました。

みちのく会の成り立ちの説明では、311後必要に迫られ、急ごしらえで会ができていった経緯が話されました。

現会長の本間さんが、現相談役の湊源道さんの支えで会を立ち上げた様子。始めてはみたものの、専属で動けるのは本間事務局長一人のなかで、本間さんが髪を振り乱して駆け回った様子。初代会長がお仕事を持ちながら尽力された様子。少数の会員が生活を立て直しながら必死に活動してきたこと。支援者の皆さんの、物心両面の多大な支援（見返りを求めない純粋な支援だったそうです・・・）によって、会がここまで成り立ってきたこと。最初十数世帯で発足した会が、昨年末には700人、現在では1000人を超える大きさに膨れ上がったこと・・・

その結果、膨れ上がる業務内容に対し、慢性的で深刻なマンパワー不足に陥っている現状が説明されました。

では会全体で行っている業務には何があるのか？という話になりました。

会長の持ち分と、役員が受け持っている仕事の説明。「これを全部本間会長がやってたら、1日は24時間じゃ足りないよ！」「役

員はもう十分にいっぱいだよ」という内容に、皆が目を丸くしました。

そこで役員会からは「すでにある業務の中で、チームメイトにやっていただきたいこと」の提案をしました。

- ・本間が抱える事務作業を分担してほしい
- ・毎週木曜のお茶会で世話役をしてほしい
- ・いろいろな場所、テーマでお茶会を主催してほしい
- ・缶バッジを始めとする内職を指導するマイスターになってほしい
- ・みちのく会オリジナル商品開発を担ってほしい
- ・新規避難者にみちのく会を案内しにたずねてほしい
- ・お祭り、イベントで会が出店する際にスタッフをしてほしい
- ・まわりの会員の声を集めて会の運営にいかしてほしい

などなど。。。ここぞとばかりにたくさんお願いしてみました(笑)このなかから少しでも、各自が「無理なくできること」をしていただきたいという想いです。

またチームメイトからは「自分はこんなことをやりたい！」という声が上がりました。

- ・他の避難者の話を聴く機会を作りたい（特に津波避難の方の話）
- ・母子避難は大変だから、同じ境遇の人の支えになる活動をしたい
- ・避難してしばらく知り合いができず寂しかった。そういう人を無くす活動をしたい
- ・移住下見に来た方に地元情報等伝えたり、新移住の方の歓迎をしたい
- ・縫い物が得意なので「縫い物お茶会」を主催したい
- ・私達避難者の座談会をUST中継したい（避難者の生の声が被災地には入ってこない）
- ・「もう避難しても遅いかな」と思ってる人に先輩避難者として「おいでよ」と伝えたい
- ・避難者も保養者も健康不安を抱えている。医療相談の充実を図りたい
- ・被曝のことを道民と共に勉強できる会を開きたい
- ・農家の方と放射能対策勉強会を行いたい
- ・放射能対策をしている飲食店に『放射能対策しています！』ステッカー貼りをお願いしたい

などなど。。このやる気、心強いです!!

なお、これらすべてを、みちのく会としてできるとは限りません。会の方針に合致するものであるか否かはこれから議論が必要です。

しかし、まず、これだけのことが主体的に「やりたい」という意思として出てきたことに、チームみちのくのレベルの高さ、今後大活躍の予感!を感じましたので、敢えてご報告しました。現在、メーリングリストで情報共有をしつつ、日々の事務作業に入ったり、お茶会の世話役を受け持ったりという形での活動が始まっています。

してもらおう立場から、自分と仲間のために行動する立場へ。みちのく会の大きな一歩『チームみちのく』の活躍にご期待下さい!

みちのく会役員：森田千恵（群馬県から避難）記

引き続きチームみちのく募集中

チームみちのくは引き続き募集中です。
入ってくださる方は、みちのく会事務所までご連絡下さい。
皆さんの一歩をお待ちしています!
メール office@michinokukai.info
電話・FAX 011-206-1522

みちのく会空知支部より

お茶会

7/7（土）に空知支部の事務所兼篠崎家の自宅にて2回目のお茶会を開催しました。7/1のキタオンプラスフェスタで空知支部の存在を知ってくれた方の入会を含めたほぼクローズドのプチお茶会だったにも関わらず、後から本間会長と相談役の中村さんも駆けつけてくれて素敵なお茶会となりました。

みちそら合唱団

現在も引き続き毎週金曜札幌市厚別区にある雇用促進住宅桜台宿舎管理棟で13時～15時で大人の部、15時半～17時半で子供の部で練習しております。ここ最近では子供の部で女子ダンス部も作られ、大人も驚くほど熱心に取り組んでおります。歌やダンスをしない子供達は15時半～17時半に主にあすなろ公園で支部長の僕が子供達と遊ぶわんぱくネイチャーを実施しております。岩見沢での土曜午前中の合唱練習は現在お休み中です。

【空知支部問い合わせ先】

空知支部長：篠崎龍一（しのざきりゅういち）
自宅兼事務所：〒069-0351 岩見沢市北村砂浜 4925
TEL：090-9104-7421
E-MAIL：the.vintage.times@gmail.com

会員数のお知らせ

みちのく会会員世帯数

厚別区	157世帯	南区	13世帯	白石区	11世帯
東区	23世帯	豊平区	18世帯	西区	9世帯
北区	21世帯	清田区	6世帯	市外	33世帯
手稲区	10世帯	中央区	16世帯	道外	64世帯
大人	538人	中学生	35人	幼児	305人
高校生	13人	小学生	175人		

計 370世帯（2012年8月1日現在） 1066人

パート募集のお知らせ

モノココ厚別店でフレックス制度のパート募集

みちのく会相談役の湊源道さんからの情報です。
母子避難などで働きづらいという方を視野に入れて、考えて下さいました。
「当社のリサイクルショップモノココ厚別で、皆さんが働きやすい形のフレックス制度の求人を作りました。」

【求人企業】株式会社ルーツ・オブ・ジャパン
リサイクルショップモノココ
札幌市厚別区厚別西4条2丁目8-7トライアル1F
【時給】710円

【交通費】無

【最低労働時間】1日3時間以上、月4回以上勤務可能な方（営業時間内とする 10～22時）

【勤務内容】中古商品の清掃

【備考】

- ・社員複数名の評価制度を新設し評価の低い方は翌月からの勤務はありません。
（主に遅刻や勤務態度、おしゃべり、作業が遅すぎる等）
- ・勤務希望日は3日以上前に担当社員に申請し微調整
- ・一ヵ月200時間分を数名で分けて勤務していただきます。
（3～5名）
- ・簡単な面接と履歴書が必要です。

【申込み方法】

私のEMAIL（minato@rootsof.jp）まで、連絡先記載の上お申し込みください。人事担当者に引き継ぎます。

【追記】

この企画が成功した場合、ポスティング隊や女便利屋隊等の企画もアイデアとして考えております。

株式会社ルーツ・オブ・ジャパン 代表取締役 湊 源道
〒062-0053 札幌市豊平区月寒西3条10丁目2-48
電話：011-859-6445 FAX：011-788-2969